

平成 24 年産 紀南の中晩柑産地情報

2013/3/15



1. 開花・結実・果実の生育状況

中晩柑の結実は、品種・園地によるバラツキはあるものの、ほぼ前年並である。

2. 果実の品質

2月下旬の一斉糖・酸分析(光センサー)によると、不知火は糖度 13.3% (前年 15.4%) 酸度 1.3% (前年 1.2%)、清見では糖度 11.2% (前年 12.4%) 酸度 1.0% (前年 1.2%) と、前年に比べ糖・酸度共に低い状況である。

また、昨年末から年明けにかけては、氷点下を記録した日もあり、低地の一部で低温害が発生したため、家庭選別の周知徹底を呼びかけている。

3. 収穫・販売予定

◎木熟八朔

3月上旬から販売しているが、全般的に小玉傾向。終了は4月中旬の予定。

◎不知火 (デコポン)

露地不知火 (デコポン) は2月中旬から3月中旬にかけて販売。

木熟こだわりデコポンの取り組みは、本年で4年目となるが、先週から今週にかけて、園地巡回を実施し、本年は15t程度を見込んでいる。出荷は4月上旬の予定。

◎木熟清見

3月中旬から始まっているが、全般的に小玉傾向である。

4. 管内生産予想量 (3月15日時点)

主要品種	面積 ha	生産予想量 t	生産量前年比%
ポンカン	40.1	457	97
八 朔	28.5	545	97
不知火	30.4	367	101
清 見	27.3	388	101
中晩柑合計	214.2	3,158	100